藤沢市私立幼稚園協会　2024年度湘南地区大会

記念講演 令和6年11月16日(土)10時30分～12時00分

ＡＩに負けない力

～非認知能力を育む子ども中心の保育～

内田　伸子

（Iお茶の水女子大学名誉教授/IPU環太平洋大学教授）

uchida.nobuko@ocha.ac.jp

「学力格差」*は経済格差を反映するか？

*児童・生徒自身の努力だけではどうにも克服できない差異

◆学力テストの成績：幼稚園卒＞保育所卒〔文科省幼稚園課2010. 7.28〕

⇔「学力格差は経済格差を反映している。保育所に通う家庭の所得が低いためではないか」（教育社会学者やマスコミ）

RQ：経済格差と連動していて,学力低下をもたらす“*媒介要因*”があるのではないか？

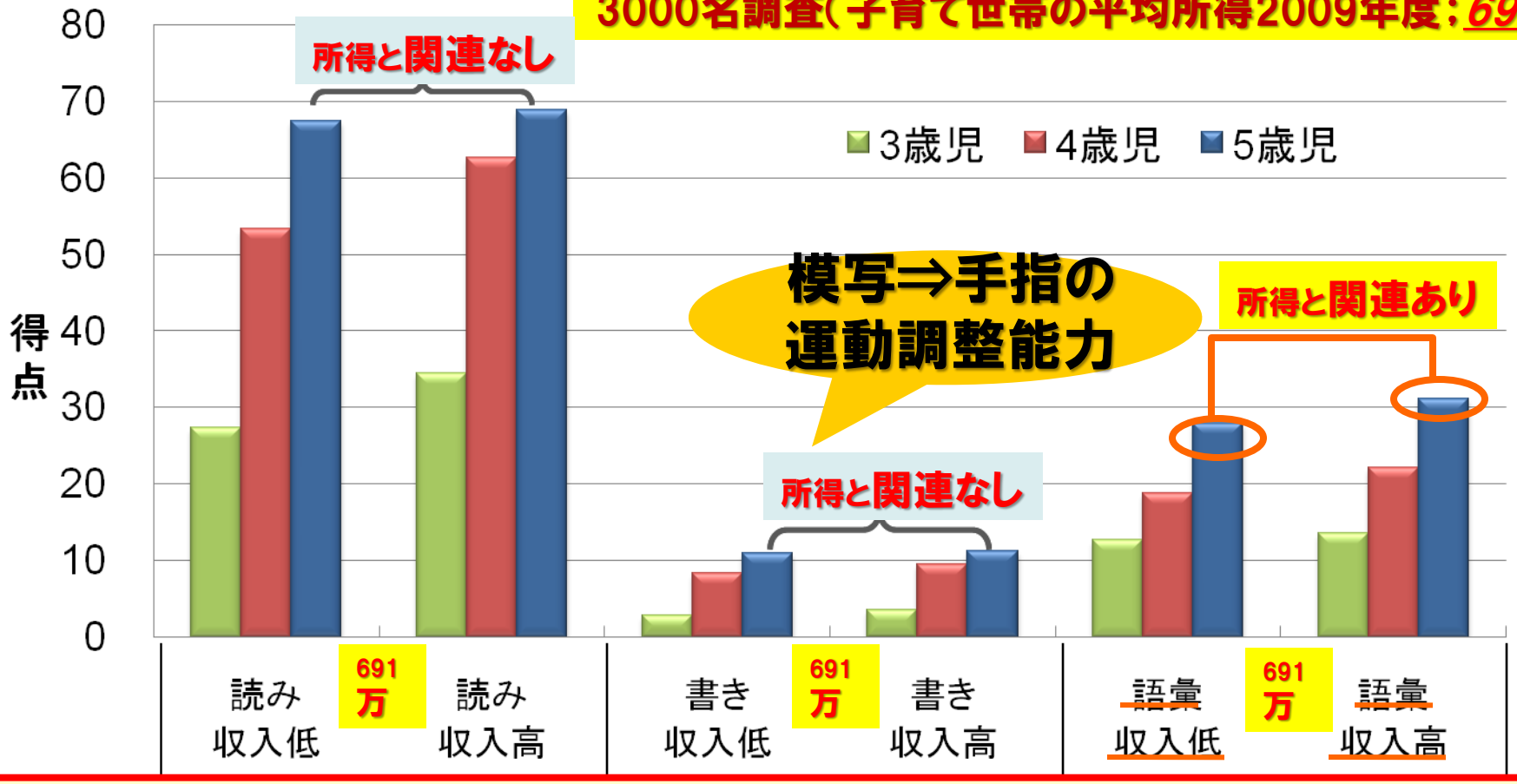
⇒日韓中越蒙比較追跡研究

「幼児のリテラシー習得に及ぼす文化・社会・経済的要因の影響についての検討」（各国大都市ー東京・ソウル・上海・ハノイ・ウランバートルの3,4,5歳児3,000名を個人面接で）

内田伸子・浜野隆（2012）『世界の子育て格差 ー貧困は超えられるか？』金子書房.

リテラシーや語彙の習得に家庭の所得は影響するか？

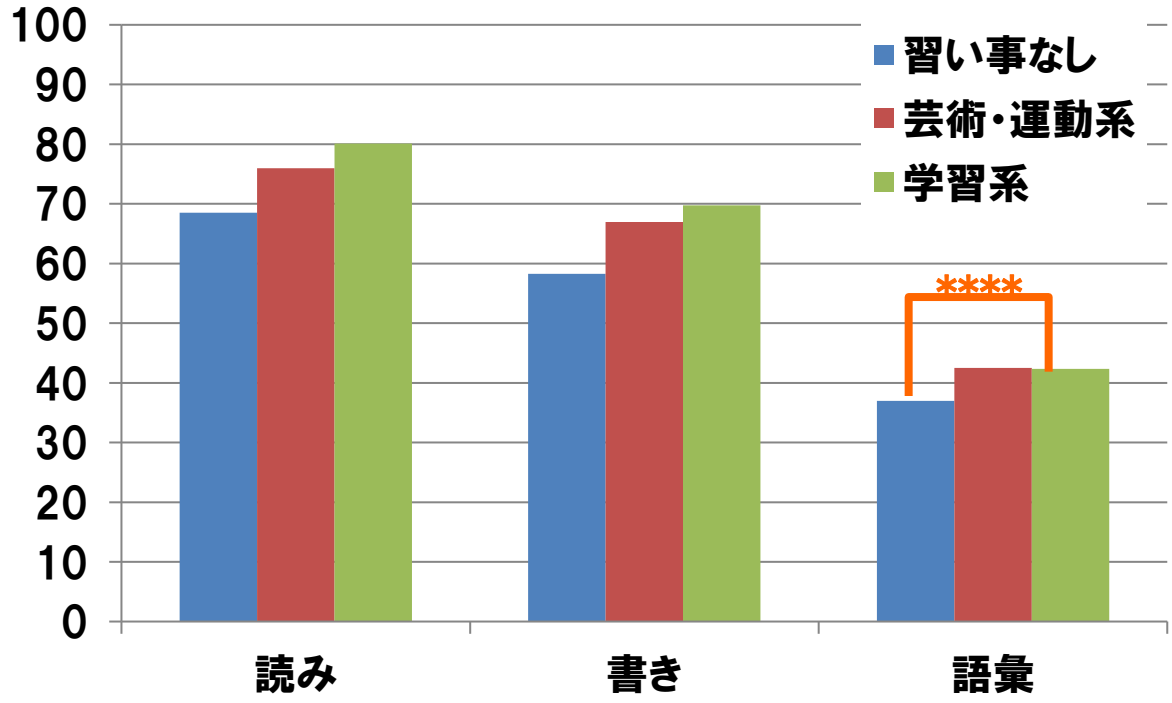
3000名調査（子育て世帯の平均所得2009年度：691万）



①読みと書きは家庭の所得による差はない。

②語彙得点（PPVT）は5歳児において家庭の所得差が顕在化する（高＞低）。

習い事の種類と読み・書き・語彙との関連



語彙得点；習い事なし＜習い事あり

芸術・運動系(ピアノ・スイミング)≒学習系(受験塾・英語塾)！

運動能力の発達
（杉原隆東京学芸大学教授，2012年）

3，4，5歳児全国9,000名の運動能力調査

体操・バレエ・ダンス教室に通っている子どもや体操の時間を設けている「Y式プログラム」を導入している**一斉保育**の幼稚園や保育園に通園している子どもの**運動能力が統計的に有意に低く、運動嫌いも多い。**

⇒なぜか？

①特定の部位を動かす同じ運動を訓練している。***⇒つまらない！***

②説明を聞(×聴く)いている時間も多く動き回る時間がすくない。

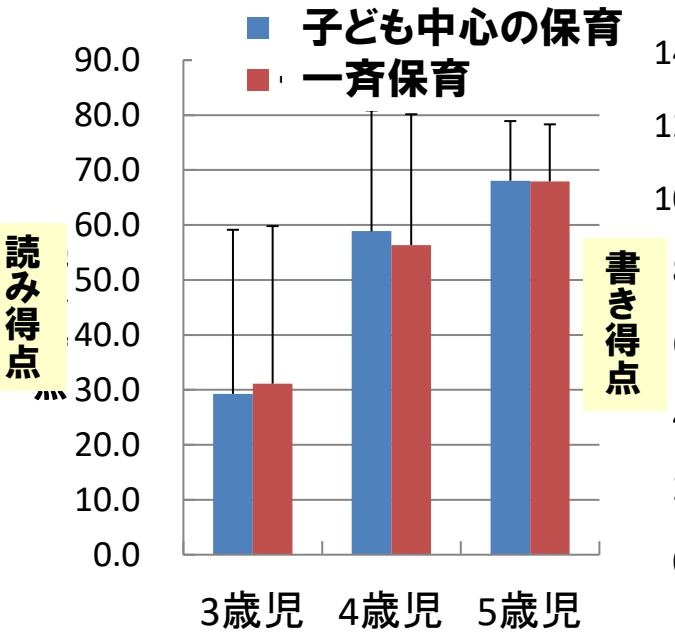
③5歳前半までは競争心をもつ段階ではない。5歳後半すぎから自分ができないと嫌になってしまう**⇒運動嫌いになる。**

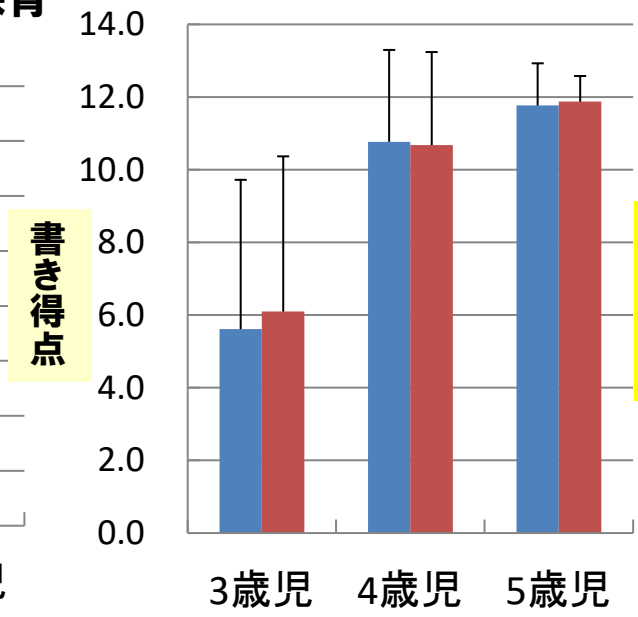
⇒子ども中心の保育がよい！ 自発的な自由遊び

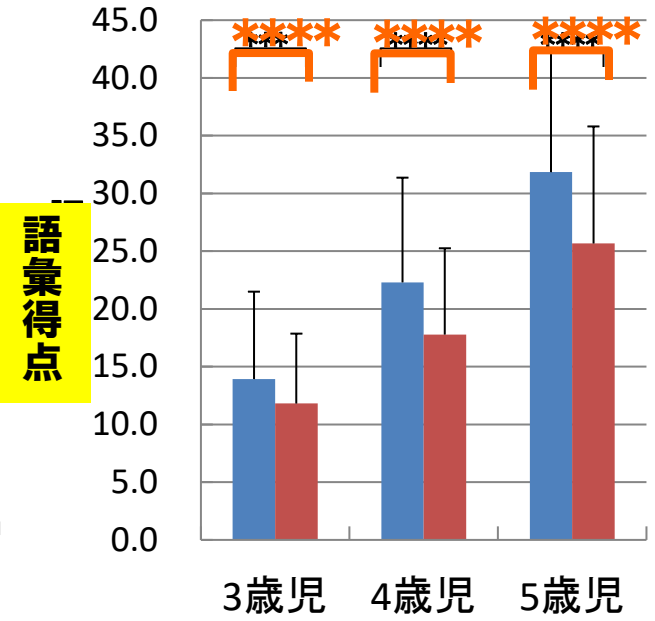
⇒運動遊びの楽しさを体験できる環境と保育者の働きかけ！

語彙力：保育形態（子ども中心の保育＞一斉保育）の差

園種（幼稚園か保育園か）の差はない！⇔反証！







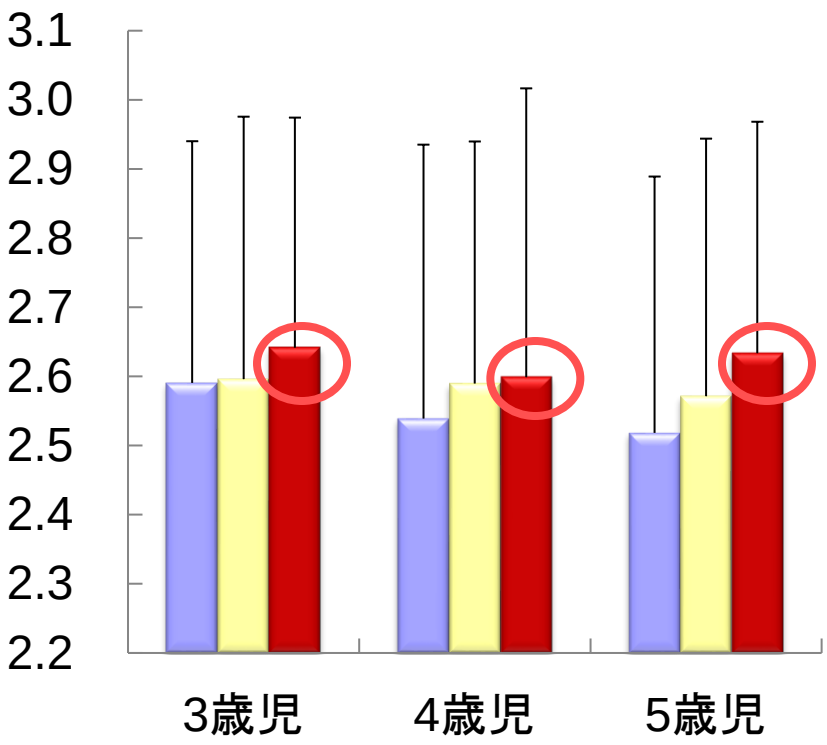
語彙得点：子ども中心の保育＞一斉保育

子ども中心の保育、自由遊びの時間が長い

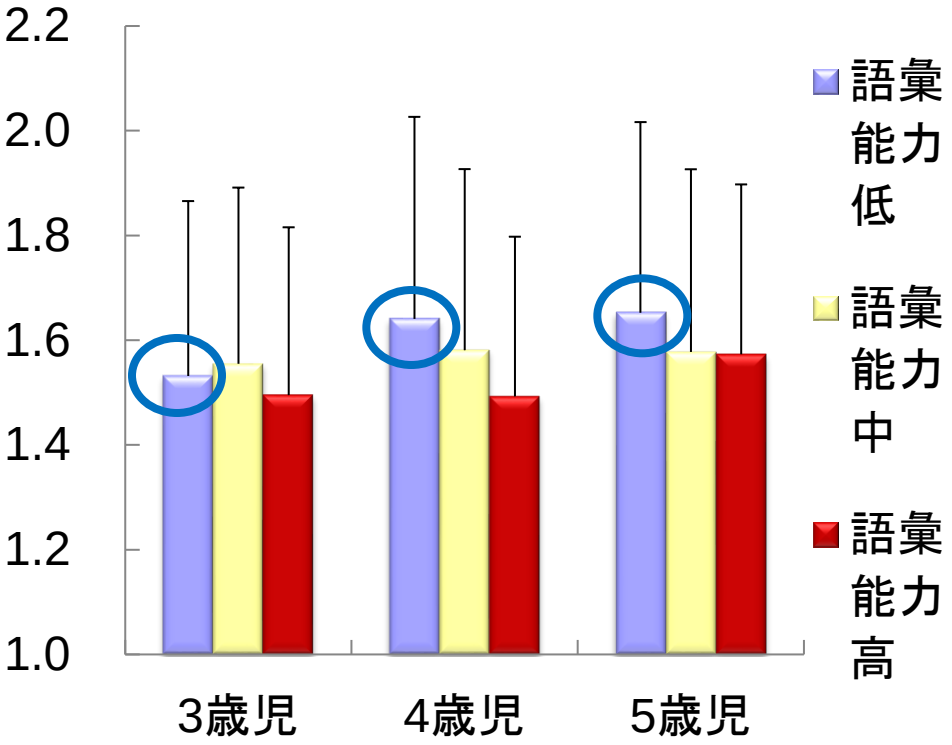
幼稚園や保育所の子どもの語彙得点が高い

しつけスタイルと語彙能力

共有型しつけ　vs.　強制型しつけ



共有型しつけ得点

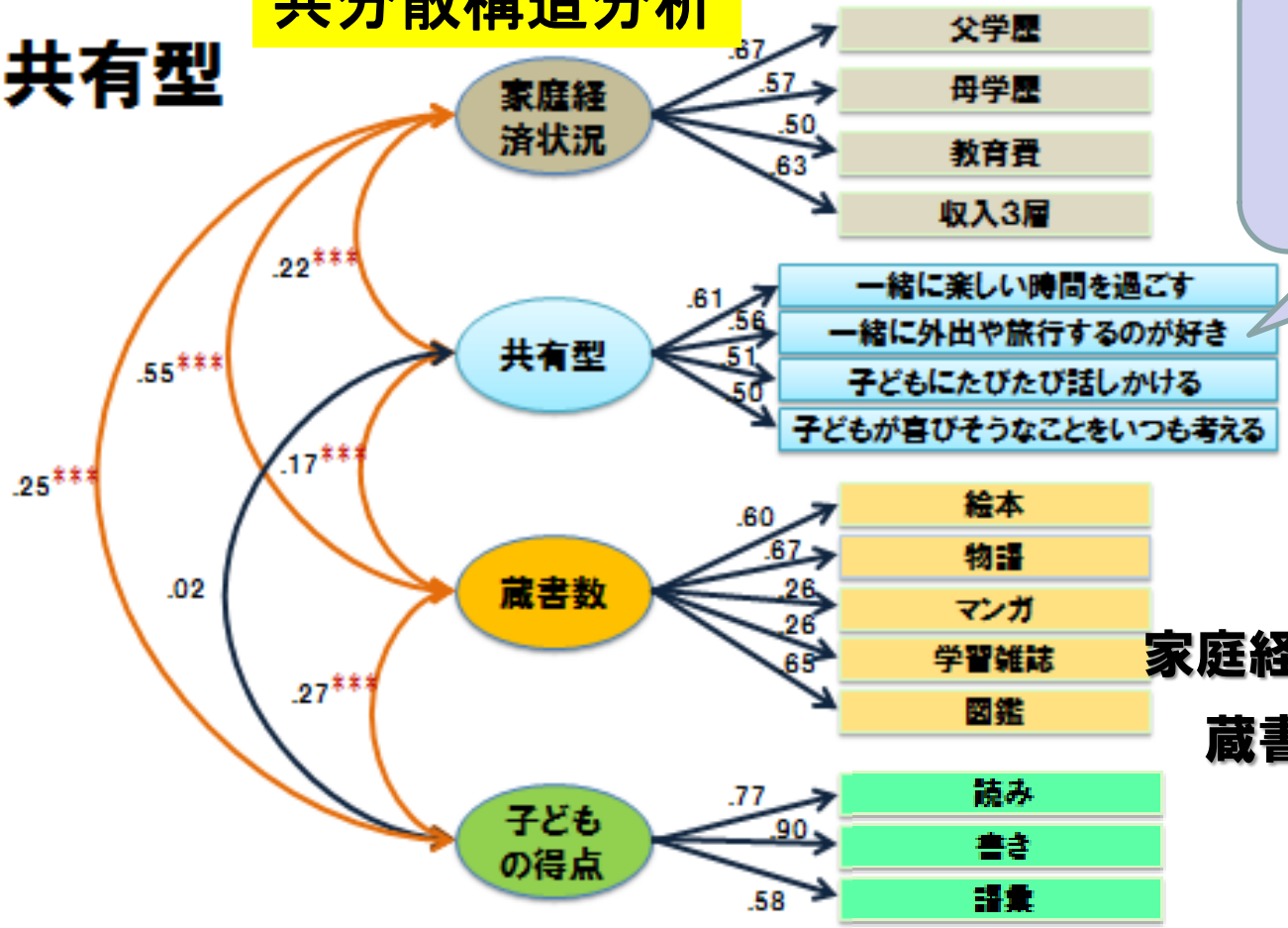


強制型しつけ得点

語彙得点が高い子どもは、共有型しつけを受けており、
語彙得点が低い子どもは、強制的しつけを受けている。

共分散構造分析

共有型



親子のふれあいを大切に、子どもと楽しい経験を共有したい！

家庭経済状況 ⇔ 「共有型」

蔵書数 ⇔ 子どもの得点

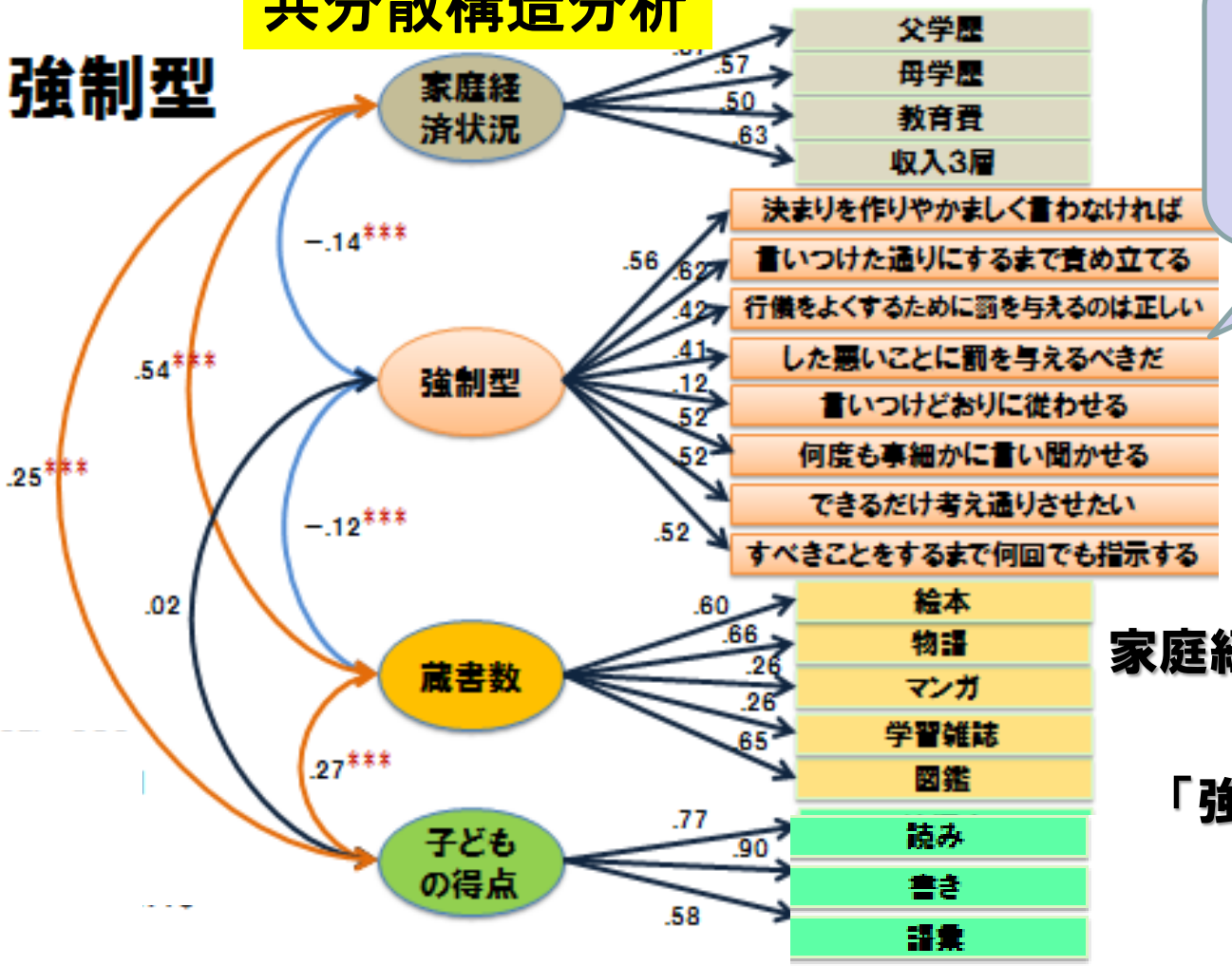
高所得層では蔵書数が多く、共有型しつけが多い.

低所得層でも蔵書数が多いと子どものリテラシー得点は高い.

→共有型しつけスタイルをとる親のもとで、子どものリテラシー得点・語彙得点ともに高くなる.

共分散構造分析

強制型



子どもをしつけるのは親の役目。悪いことをしたら罰を与えるのは当然。力のしつけも多用する！

家庭経済状況 ⇄ 「強制型」

「強制型」 ⇄ 蔵書数

低所得層では強制型しつけをとる親が多く、蔵書数も少ない。

→強制型しつけのもとでは、*高所得層でも、*

リテラシー得点・語彙得点ともに低くなる。

小学校の学力への影響因

1．①幼児期の絵本体験が豊かで**語彙が豊富**な子ども，②造形遊び・ブロック遊びが多く**指先が器用**な子どものPISA型学力が高い。

2．①幼児期に**共有型しつけ**を受けた子ども，②**遊び**を大事にする**子ども中心の保育**の幼稚園や保育所で育った子どものPISA型学力が高い。

★しつけスタイルや保育形態は親がコントロールできる！

小中での学力の幼稚園卒＞保育所卒の理由

文科省；幼稚園＞保育所

⇒「幼児教育の大切さの検証した」

★これは「戦略的発言」だった！

⇒幼稚園・保育園の保育の質の違いが小6、中３まで続くとは考えづらい.世帯の所得格差・しつけスタイル（家庭の親子の関わり方）の違いが学力格差につながっているのではないか。

幼児期に保育者も親も子どもの主体性を大事にした関わり方をしているかが肝心！

【家庭訪問調査】

200世帯（高所得層、高学歴、専業主婦）

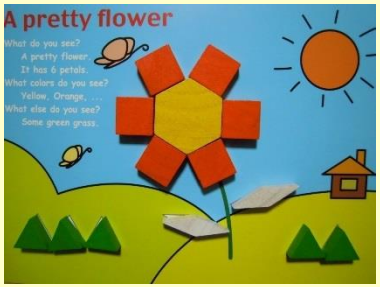
「しつけ調査」の結果から

共有型（30組） vs. 強制型（30組）

問：母親のしつけ方の違いの何が子どもの語彙力に影響？

①ブロックパズルの解決場面での母子のやりとりを観察録画

①

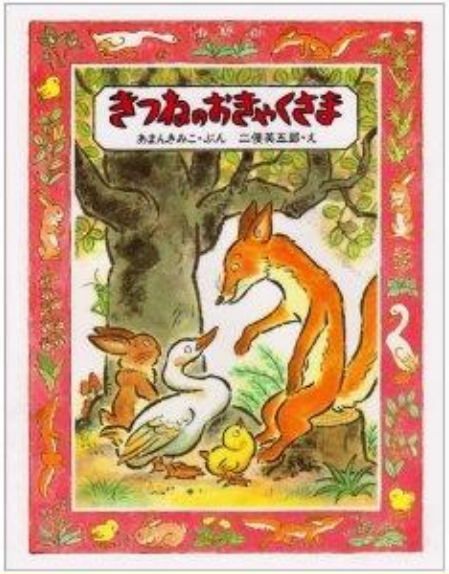


②

②絵本の読み聞かせ場面での母子のやりと

を観察録画.

『きつねのおきゃくさま』母子になじみのない絵本



共有型＊で、なぜ語彙力が向上するのか？

＊子どもと楽しい経験を共有したいと思う親

■共有型　「洗練コード」

- ✓ 考える余地を与える（援助的）サポート
- ✓ 子どもに敏感で子どもにあわせて柔軟に調整する
- ✓ 3つのH（ほめる・はげます・ひろげる）の言葉かけが多い

↓

- ✓ 主体的に探索し、自律的に考えて行動する（遊びに熱中して・楽しそう！）

■強制型　「制限コード」

- ✓ 考える余地を与えない
  指示的・ﾄｯﾌﾟﾀﾞｳﾝ介入
- ✓ 過度な介入，情緒的サポートの低さ
- ✓ 3つのHのことばかけ無し

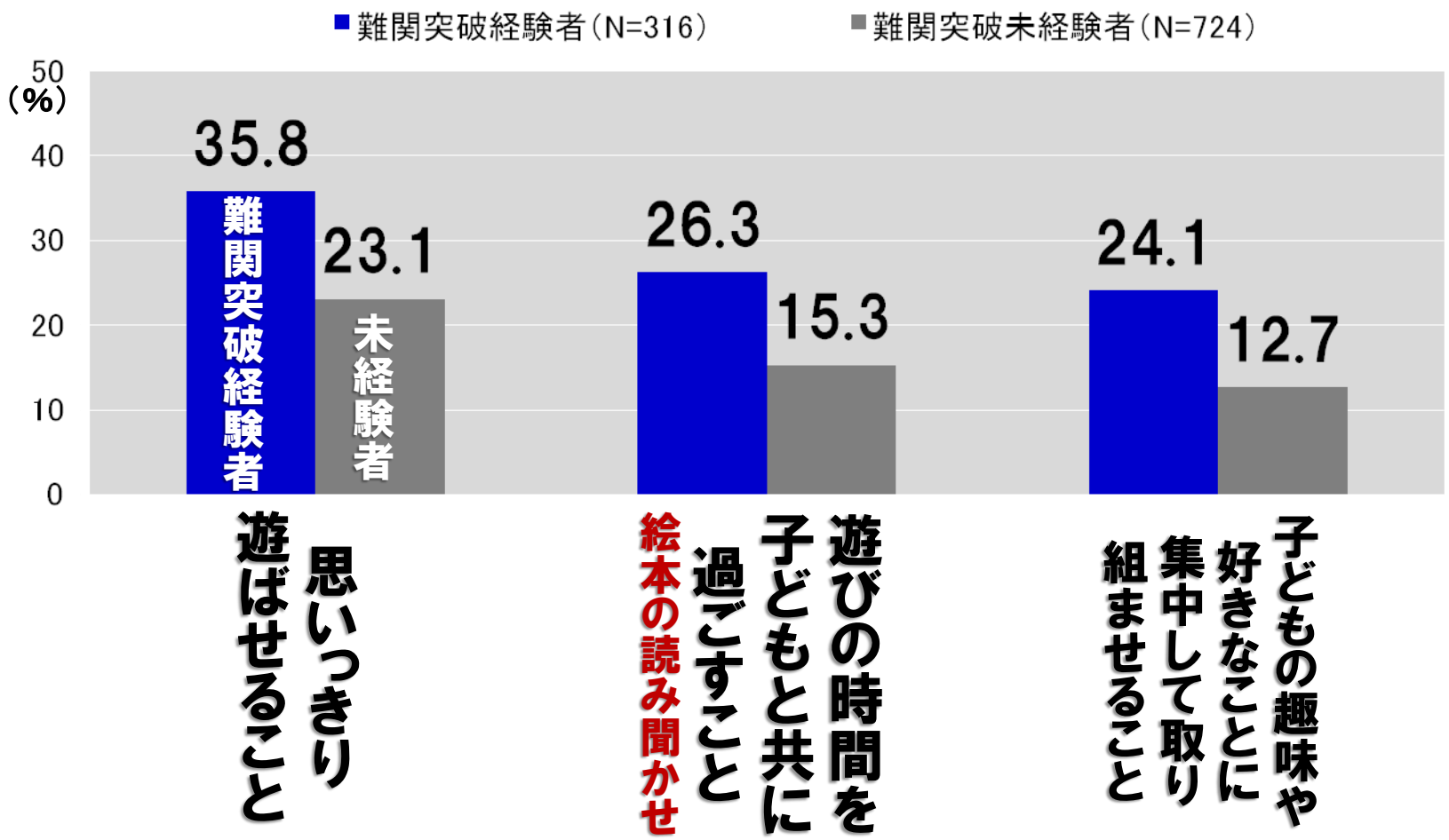
↓

- ✓ 主体的に探索せず，他律的行動（親の指示を待ち・顔色を見ながら・緊張しながら！）

【首都圏2,000世帯＜23～28歳の息子や娘2,3人育てた家庭＞のウェッブ調査】 難関校突破組で最難関国家試験突破組

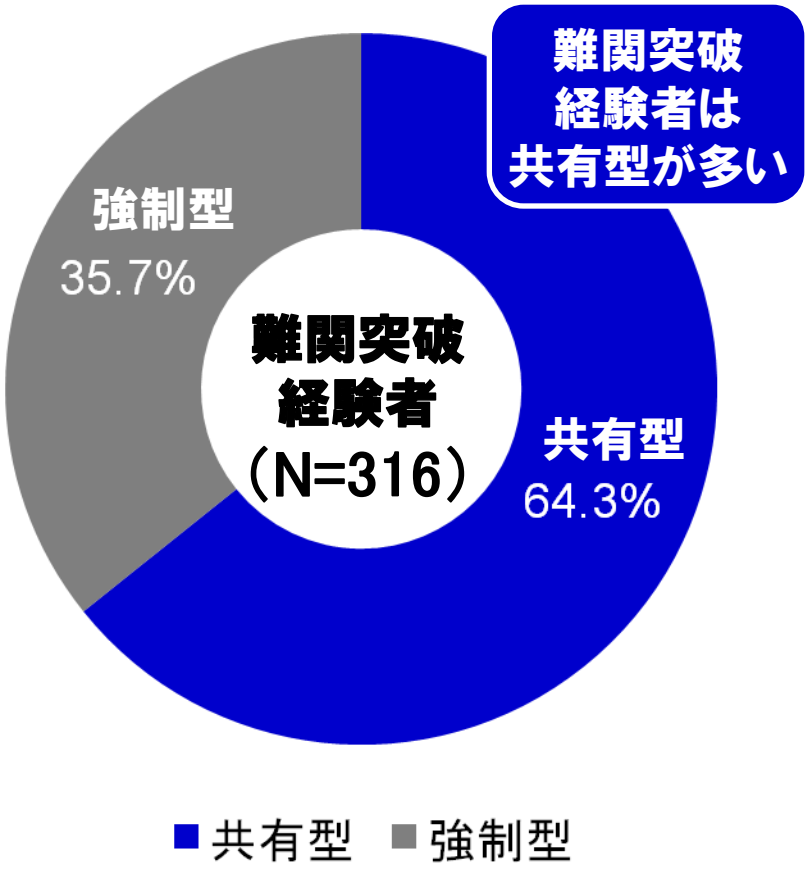
絵本の読み聞かせに取り組んだ・親も本好き

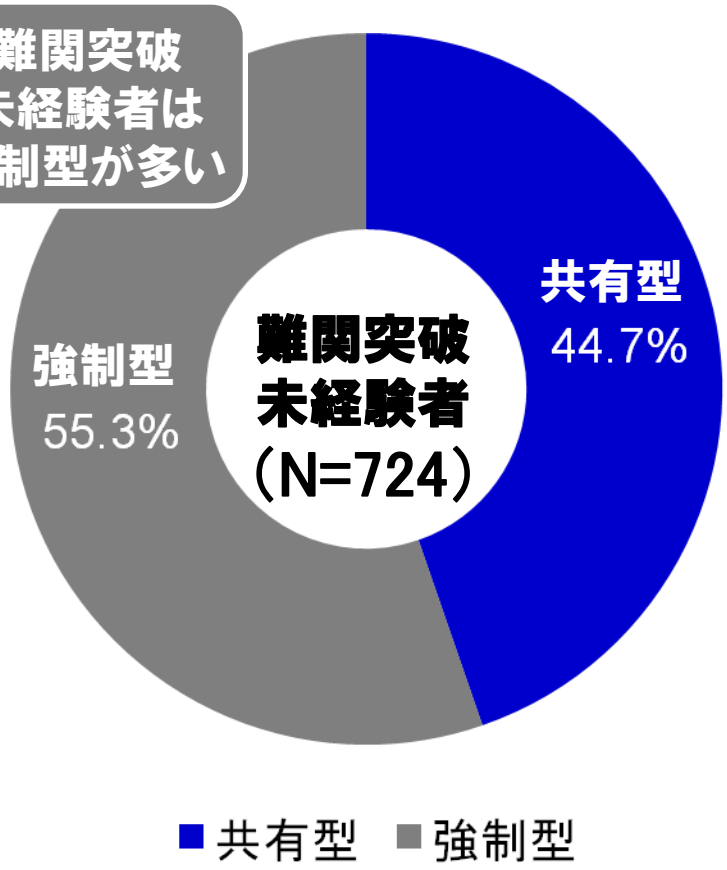
小学校就学前にとても意識的に取り組んでいたこと



難関校突破組は共有型しつけを受けていた

子育てスタイルの傾向（共有型／強制型）





「遊び」を通して子どもは「アクティブ・ラーニング(脳働楽習)」する

(1)「遊び」とは、仕事に対立する概念ではない。また、「怠けること」を意味するものでもない。幼児にとっての「遊び」とは「自発的な活動」であり，大脳(ブローカ野・海馬と扁桃体)が活き活きと働いている状態を指している。

「遊は絶対の自由と、ゆたかな創造の世界」

〔漢文学者・白川静〕

(2)「気分一致効果」 叱られながらやった勉強は身につかない

○扁桃体が快(面白い・楽しい)状態

⇒ワーキングメモリーに情報伝達物質が送られ海馬を活性化.

⇒知識を蓄えることができる⇒「好きこそものの上手」

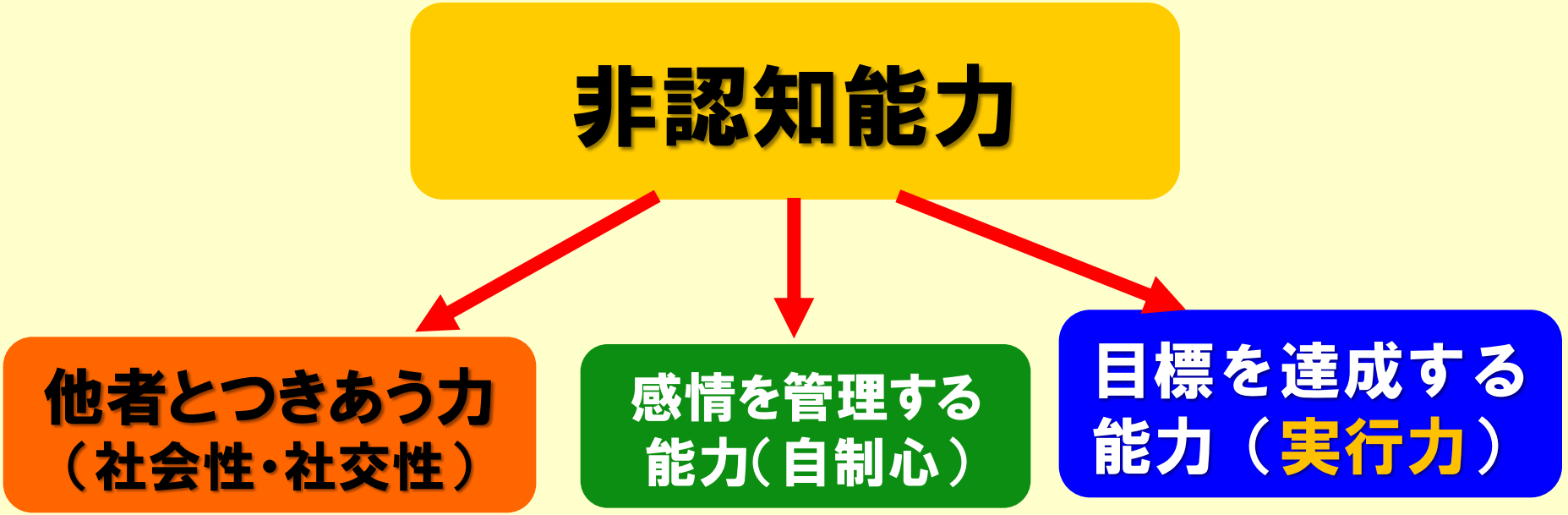
⇒自己肯定感⇒意欲や探究心　そして

非認知能力(AIに負けない力)が育まれる

非認知能力 ⇔ AI に負けない力

「頭の良さ」⇔IQは将来の学歴や年収を予測する？⇒ *No！*

IQだけでは不十分 ⇒「非認知能力」



（内田，2020；森口佑介,2019を参考に改変）

※非認知能力の獲得は、子どもがより年少の時点、特に、幼児期・小学校低学年の経験（生活・遊び）によって決まる

〔耳塚宏朗・浜野隆・冨士原紀絵,『学力格差への処方箋』勁草書房.2021:,p.117〕

宮教大附幼　5歳児「大発見！の共有」（2021･7･13）

るい（ひろくち瓶に水を入れて手を入れる
⇒びんのわきから観察⇒驚いた表情！
このあと、3度繰り返した。
（まるで実験しているような姿）
⇒手が大きく見えることを確認した。
（よしというように満足そうに頷いた）
⇒そばにいたひとみに
「ほら、手を見て。こんなに小さいでしょう？」
ひとみ（うなずく）
るい（ひとみによく見えるように、広くち瓶に自分の手をそろそろと入れて違いを見せた）
ひとみ（あっ！と驚いた表情）
るい「ねっ！ほら！、、、、、まほうで　手がおっきくなった！」
るいとひとみ（顔を見合わせ、笑いあう）（大発見の共有）

AI 時代だからこそ求められる 外遊び！

外遊びが育てる３つの力

視 力

遠くの景色や手元の動きを見比べる→網様筋の調節機能が育つ→近視の抑制

◇誕生～就学前期まで大脳の視覚野の感受性期！

◇近視の割合は年々増加低年齢化も進む!小学生の3分の1が裸眼視力1.0未満、幼児は1.0未満が4分1（24.95%に及ぶ）

しかし、外遊び2時間以上の子どもは,両親が近視か否かに関わらず近視の発症率が3分の1以下に減った〔大石,2021;Ohno,2022;文部科学省,2021他〕

運動調整能力

大筋群の運動＆多様な動き→感覚と運動の協応⇔促進ニューロンと抑制ニューロンの活性化と調和→自由自在に自分の体をコントロールする実感がわく→自己肯定感が高まる

例.お茶の水女子大学附属幼稚園の山への階段

例.タワーマンションに住んでいる4歳児は階段を交互に上り下りできない（c.f.3歳児は階段を交互上り下り可能）

ことばの力

四季折々の自然環境を体験→仲間や保育者、親とおしゃべりしながら自然を肌で実感する。

◇砂遊び;保育者が「さわやかな風だね」→小学生になって「さわやかな風」という詩を読んだときに感覚が蘇るだろう。◇「ゆうあけこあけのかたまりだ！」（3歳男児）〔全労済,1998〕⇔ことばは既存の知識や体験と結び付けて獲得される;「記号接地問題」〔今井,2024〕

「記号接地問題」

〔今井むつみ,2024〕

◆対話型AI（ChatGPT）が『それらしい』応答をしても、ある言語体系の中の文法やルールに従って、人間の質問に続く可能性の高い文字列を並べるだけ。

◆AIの内部では，一つ一つの単語（記号）は経験や感覚に対応（設置）しているわけではない。つまり、人間の会話で交わされることばの意味と発話者の意図を理解していないということ。

◆人間の推論⇔アブダクション（仮説形成）推論。あるデータを説明するのに仮説を立てて結論を導こうとする。⇒飛躍！

◆ChatGPTは統計推論。膨大なデータからパターンを探しだしてきて同じ分野の新しい事例を予測する。だから既存のパターンからの跳躍がない。⇒想像力・創造力がない！

自走できる学び手になるためには？
〔今井むつみ,2024〕

（1）子どもたちが「自走できる学び手」になるためには「記号接地」が必要。

（2）ひとつひとつのことばを自分の経験に「接地」させ（ひもづけて）、そこから「アブダクション」によって知識を拡張し、修正して「生きた知識」の体系を構築していく。

（3）身体に由来した的確で柔軟な「直観」はそこから生まれる。

〔今井むつみ・秋田喜美『言語の本質ー言葉はどう生まれ進化したか』講談社新書〕

人間と生成AIの決定的な違い ー人間はアブダクションをし、間違いを修正しながら　新たな知識を創造する

子どもの非認知能力を育む保育者の役割
～頭はいつも先回り・援助は後からついていけ～

1. 子どもに寄り添う⇔安全基地＜信頼関係＞
2. その子自身の進歩を認め誉める⇔他児と比べない。　3H:ほめる・はげます・(視野を)ひろげる
3. 「生き字引」のように余すところなく定義や解説、回答を与えない。
4. 「裁判官」のように「判決」をくださない
   ⇒禁止や命令ではなく「提案」を！
5. 子ども自身が考え、判断する余地を残すこと.
   ⇒自律的思考力　そして　非認知能力！

第Ⅰの軸
保育者の統制が大きい

一斉保育
教師主体の保育
（小1の準備教育・学習導入）

第Ⅱの軸
子どもの自発性の軽視

子どもの自発性重視（子どもの「やりたい！」を大切に

子ども中心の保育
〔国公立幼稚園では1988年～
保育所とこども園は2017年～〕

保育者の統制が小さい

語彙力：子ども中心の保育＞一斉保育

*運動能力も！*子ども中心の保育＞一斉保育

日本の幼児教育・保育147年の礎石

「倉橋惣三の保育論」ー遊びを通した学びの援助

「幼児教育の父」

1．活動の主体・主人公は子どもである。

2．大人（保育者）は活動が生まれ展開しやすいように
意図をもって環境を構成する。

3．活動を豊かにすることは、いろいろなことをできる
ようにすることと同じではない。

重要なのは、**活動の過程で乳幼児自身がどれだけ遊び、充実感や満足感を得ているか**であり、活動の結果どれだけのことができるようになったか、何ができたかだけをとらえてはならない。

なぜなら、活動の過程が意欲や態度を育み、生きる力の基礎を培っていくからである。

〔これが日本の幼児教育・保育の礎石である。
2017年度3法案改訂で倉橋保育論が再びクローズアップされた。〕

（内田，2018）

「子ども中心の保育」における保育者

子どもの自発性が発揮されるのは
保育者の権威が最小限に抑えられた時

＝子どもと**対等**、子どもの視線で
かつ「**レントゲンのような目で**」（堀合文子氏）
（現象の表面だけを捉えるのではなく
心の動きやつまづきまでも洞察）

内田伸子（1986）『まごころの保育～堀合文子の言葉と実践に学ぶ』小学館．より

保育者の「眼」

前を見ていても、
横の子どもの**体の動き**が見えるのです。
後ろの子どもの　**心の動き**が
見えるのです。
　そうでしょう。
その神経のつかい方が保育者なのです。

「保育の神様」

内田伸子(1986)『まごころの保育～堀合文子の言葉と実践に学ぶ』小学館. より

１)堀合先生「最近は、お子さんのほうが背中に目をつけているわね。」
⇒「先生に忖度するのではなく、自分で考える子どもを育てたい！」

２)自律・自立の考え方；堀合先生はコートに腕を通して着せてやりボタンを１つ１つ丁寧にとめてあげる。堀合先生「自立を急ぐよりも、あなたはこんなに大切なのよと伝えることの方が先で、大切なことなのです」

幼稚園教育要領の改定にむけて
「幼児の論理的思考力の発達」

【目的】

幼児期の論理的な思考力の発達の姿を明らかにする

【方法】

国立大学法人の附属幼稚園(45園)の2012年度の紀要の内容分析を行う。

①幼児期に特有の論理的思考力

②保育者の援助の種類

内田伸子他(2015)「乳幼児の論理的思考の発達に関する研究」
『保育科学研究』第5巻,pp.131-139.

調査の結果

（１）高校生の「論理的思考の要素」を分類基準として幼稚園での子どもの遊び・生活から事例を抽出した.
（２）抽出事例数　合計328事例

年　齢	抽出事例数
3歳児	95事例
4歳児	100事例
5歳児	133事例

①様々な研究テーマの基に収集された事例であるが，生活体験と結びついた論理的な思考力の芽生えの姿が多く見られた。
②3歳児においても4，5歳児に匹敵する事例が抽出されたことから、幼児期には論理的な思考が行われていることが裏付けられた。

分類規準;大人の論理的思考の要素

①「規則性・法則性」:自分なりに規則性・法則性などを見つけようとする姿・その規則性、法則性などを使って考えようとする。

②「比較・分類」:比較したり、分類したりして、対象の特徴を捉えようとする。

③「全体と部分」:おおまかに全体を捉え、全体と部分との関連を捉えようとする。この発展系として「合成と分解」の関係がわかる。

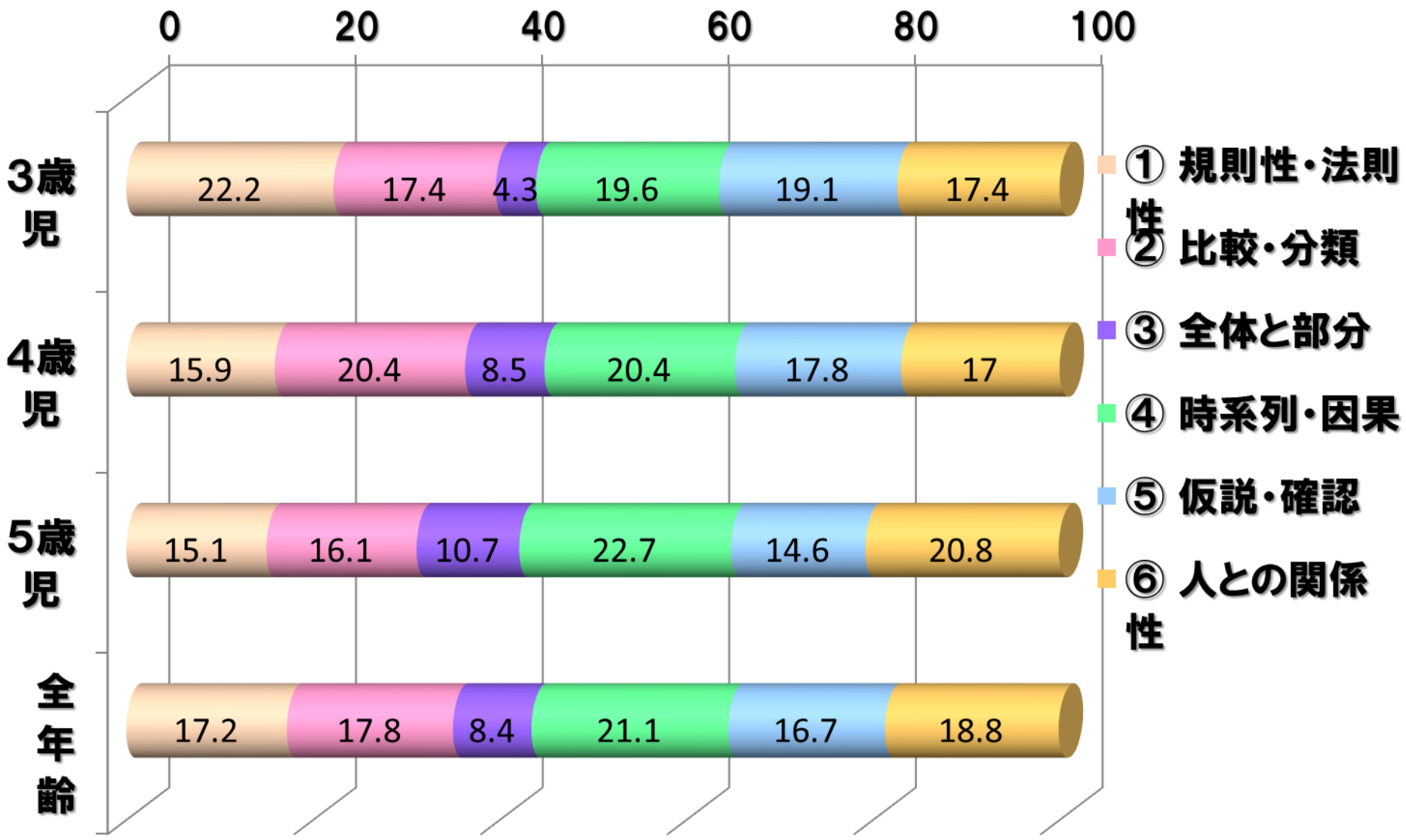
④「因果推論」:状況を理解するとき過去の体験から得たことと関連させて考える。時系列や順序性を考える。可逆的操作を使って結果から遡って因果関係をとらえる。

⑤「仮説・確認」:予想や仮説を立てそれに基づき確認しようとする。

⑥「人との関係性」・・・大人にない心的要素

:友達と自分の考えの違いに気づき、互いの考えをすりあわせて課題を解決しようとする。(例.ブランコに乗る順番を決める場合。)

【各年齢の各要素の出現比率】



保育者の援助の水準*

1. **見守り**;いつでも足場を架けられるように
2. **足場かけ**;見晴らしをよくしてやる。決定するのは子ども自身.
3. **省察促し**;「どうしてかな」「どうなっているんだろうね」「どうしたらいいかしら」などで子どもに再考させる。自分の決定を振り返らせる.
4. **誘導**;「ここをこうしたどうかしら」と具体的な解決策・手立て・考える道筋を与える.
5. **教導**;回答や解説をトップダウンに与える.

★1⇒5になるに従い大人の統制力が強くなる

適切で適時の援助の与え方

（１）保育者は子どもと対等

放任ではなく、援助（教育的営み）を与える

（２）援助（教育的営み）の与え方

援助（1,2,3,4）であり教導（5）は最後に（できたら避ける）

①発芽しかかっているところ

⇒「発達の最近接領域」 ZPD （Vygotsky，1932）

（Zone of Proximal Development）

②ZPDに援助を与えれば援助の効果は倍加する！

⇒「適性処遇交互作用」 ATI （Cronbach,1977）

（Aptitude Treatment Interaction）

子どもの発達水準をみきわめるには・・・

旧ソビエトの心理学者　ヴィゴツキーの

「発達の最近接領域」を参考にするとよい。

「発達の最近接領域」とは

‘Zone of Proximal Development’ (ZPD)

保育者が働きかけることによって子どもの発達を促進することができる**発達しつつある可能的な水準**のこと

すでに**完成した水準**と、いくら働きかけても効果がない**不可能な水準**との間のこと

発達の最近接領域

‘Zone of Proximal Development’ (ZPD)

‘Zone of Proximal Development’ (ZPD)

大人の援助や働きかけにより
発達を先に進めることができる
範囲

‘Scaffolding ’ （足場かけ）

大人は足場をかけてあげるが，
大人ができるのはそこまで．
階段は子ども自身に登らせる．
活動や遊びの主人公は
あくまでも，子ども自身である．

知能検査を例にあげて解説している

Л. С. ВЫГОТСКИЙ (1896—1934)

発達の最近接領域（Zone of Prroximal Development）

Л. С. ВЫГОТСКИ
(1896—1934)

知能年齢

9;0 不可能な水準

7;6

可能的な水準

発達の最近接領域

（ZPD）

ヒントや援助を与えられると解けるようになる

A

B

精神年齢 7;0

↓ 完成した水準

← 自分で解ける

（Vygotsky, 1932）

AとB；暦年齢 5歳6ヵ月

発達の最近接領域の見積もり

3つの手がかり

保育者の
保育経験

子どもが
模倣できるか

子どもの
生活歴

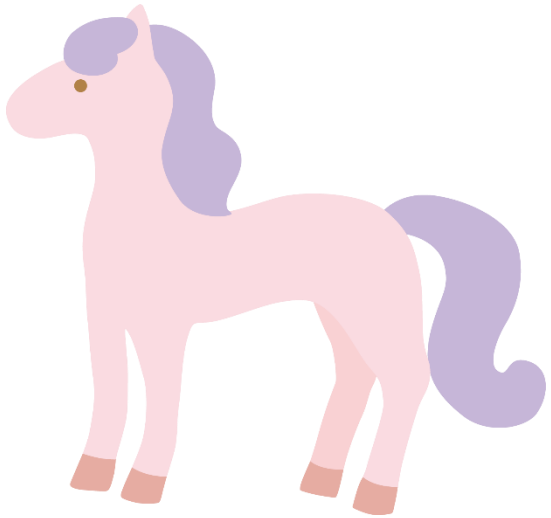
1．適切な、適時の援助（ヴィゴツキー）
2．教導は慎重に（倉橋惣三）
3．ことばを抑えることも必要（堀合文子）

「ユニコーン」をめぐって（内田，1986）

保育者（堀合文子氏）

（馬を描き始める）

え－？！（しばらく沈黙）
これじゃないの？　角。



さやか（4歳児）
馬をつくって。

角のある馬描いて。

ユニコーンて普通の馬みたいなんだけど、たてがみがなくて、角があるの。それでふしぎな力を持ってるの。

先生だって知らないことはある

キリンみたいなの？

ユニコとかあるでしょ？

知らない。*教えて*。

（この間、ほかの子どもが手助けを求めにくる。

急を要する場合だったので、そちらを

***まずかたづけてから*、保育者の机にもどってくる。）**

図鑑も活用する

あなたの馬、どうなるか
よくわからないんだけど、
あなた、ここに描いてみて。
（さきに馬を描いた紙を手わたす。）

どっかのご本にあると
いいんだけど。
（独語風につぶやく）

でていないよ，くうそうの
どうぶつだもの。

子どものことばを受け止める

じゃあ、さっきの馬に角、
描いてみてよ。そしたら
どんなだかわかるでしょ？

耳がなくて、つるっと
してるの。（描こうとはせず
口で説明しようとする）

あら、おもしろいわね。
こうかな？こういうの？
（小さな紙片に試しに小さく
描き始める）

（黙って保育者の手元を見
ている）

子どもの要求を受け止める

こういうの？　角。

（紙に試しに描いた馬に，

２本角を描き込む。）

２本もないのよ。

１本？

うん。

１本，こんなかな？

（１本角で足をパッと開いた馬をもう１つ描く）

走ってんじゃない。

止まってるのって

言ったでしょ？

子どもを誉め認めること

これじゃあだめ？

（一番最初に描いた馬に
１本角を描き加える。これ
は足を閉じて立っている。）

ああ、ペガサス？

よく見てるのね。

羽があるの。

（沈黙。“ペガサス”を知らない
らしい。黙って考えている。
・・・・・しばらくして）

**目をつむると，しわが
あるの。**

発達の最近接領域に働きかける

（と、*もう1度*羽を描きこむスペースの
ある紙に1本角で立ち止まっている
馬を*描き直す*）

じゃあ、その馬，羽があるのね？

（さやか、この間自分のひき出しのところへクレヨン
を取りに行く。ちょっとほかの子どもとおしゃべりし
たあと、保育者の机のところにもどってくる。）

ユニコーンは？

描いたわよ。

それどうでしょう。

（描き直した馬には*まだ羽が描きこまれていない*）

教導は慎重に、ヒントだけ与える

うん？（とその馬を見て）あと、羽？

羽、あとでつける？

いい。（と拒否する）

（サッサッと馬に羽を描き加える）

（それを見て，満足そうにうなずく。
彩色・切抜きペープサートを作成）

羽、あとでつける？

保育カンファレンス後、ことばかけの真意がわかった！

教導は避けて、ヒントだけ与えた

羽、あとでつける？

保育者の頭のなかには、羽は別に画用紙でつくって、切り抜いた馬にセロテープでつけてもよいとの考えがあった。

教導は避けて、ヒントだけ与えた

羽、あとでつける？

しかし、このときには、さやかはまだその提案を受け入れるまでにはなっていなかった。

⇒堀合先生は「まだ早すぎたな」と思ったという。

⇒堀合先生「だからひっこめたの」

３学期になると、鳥をつくると別の紙で２枚羽をつくり、胴体にセロテープでつけ、持って歩くと、羽がはばたいて見えるものをクラスの子どもたちはつくるようになっていく。

日本；新保育所保育指針＆新教育・保育要領
2017年度改訂 「子ども中心の保育」

1.「こども家庭庁」新設・「こども基本法」も成立；2022年6月15日

所轄官庁の「幼保一元化」は見送られた（_ _;子どもの生きる権利・最善の利益が守られて育つ権利、学ぶ権利、そして意見を表明する権利を保証し、子どもにとってのwellbeingのために、どこが何を所管するかを考える方が組織の一元化による巨大化より優先順位は高い。

但し2017年の3法改正で「保育・教育の原理」は「子ども中心の保育・教育」を実現すること；活動の主体・主人公は子どもである。

2. 教育のPDCAサイクルのよき循環を図る

保育計画・保育記録・保育評価の考え方

3. 幼小のスムーズな接続

①乳幼児期は教育の原点

②0歳からも養護と教育　＆　3～5歳；10の姿

③小学校へのスムーズな接続

子ども一人ひとりの発達過程・発達状況

ア　全体的な計画に基づき、具体的な保育が適切に展開されるよう環境・ことばかけ・援助を工夫すること.

イ　子ども＊の発達について理解し、一人ひとりの発達過程や状況を踏まえて保育すること.

【関連箇所】

新・幼稚園教育要領　第１章２節　　＊子供
新・保育所保育指針　第１章３節　　子ども
新・こども園教育・保育要領　第1章2節　　子ども

PDCAサイクル（１）「指導計画」

★原則としての「保育計画」にとらわれない。

＜年間計画⇒月間計画⇒週案⇒日案＞にこだわると、子どもの姿や思いが見えなくなる.

⇒　指導計画においては、幼稚園（保育所）の生活における子どもの発達過程を見通し、*生活の連続性、季節*の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定すること。また、具体的なねらいが達成されるよう、子どもの生活する姿や発想を大切にして適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるようにすること。

〔幼稚園教育要領・保育所保育指針,第１章３節〕

PDCA（2）保育記録；保育の見える化

（1）保育記録（例①「ドキュメンテーション」⇔伊；「レッジョ・エミリオの芸術教育」例②「ラーニング・ストーリー」⇔NZの保育）を作成する目的は何か？

①その日（今学期・1年間）の実践を振り返るための記録

②明日のエデュケアの質向上のための手段

（メモ・写真・ビデオなど）

③保護者と共有する手段

（2）「適応的エキスパート」への成長の契機となる

記録による保育の可視化と省察の契機

達人；「日常的エキスパート」vs.「適応的エキスパート」

保育の「達人」⇔科学者であり芸術家

(1) 日常的エキスパート（routine expert）

覚えた手順を正確に（そのまま）使って仕事をする場合.

(2) 適応的エキスパート（adaptive expert）

単に手続きがわかるだけではなく，いろいろな場面に応用できる場合.

自分の考えを口で説明したり，状況に応じて手持ちの手続きを修正し，適応的なものに変えことができる場合.（Hatano & Inagaki, 1986）

⇒保育者＝*適応的エキスパート！*

＜目の前の子どもの発達過程や状況にあわせて環境構成を工夫し、援助やことばかけを工夫できなくてはならない＞

保育者は　科学者であり、同時に　芸術家　！！

PDCA（3）保育の評価；保育カンファレンス
保育の見える化でPDCAサイクルを循環させる

（1）先輩や同僚から学べ！振り返りのための
保育カンファレンスを設けること！

自己評価と園内評価

（2）形成評価（formative evaluation）

保育の「見える化」（ドキュメンテーションの作成）によって
今日（今学期・1年間）の保育を振り返る；

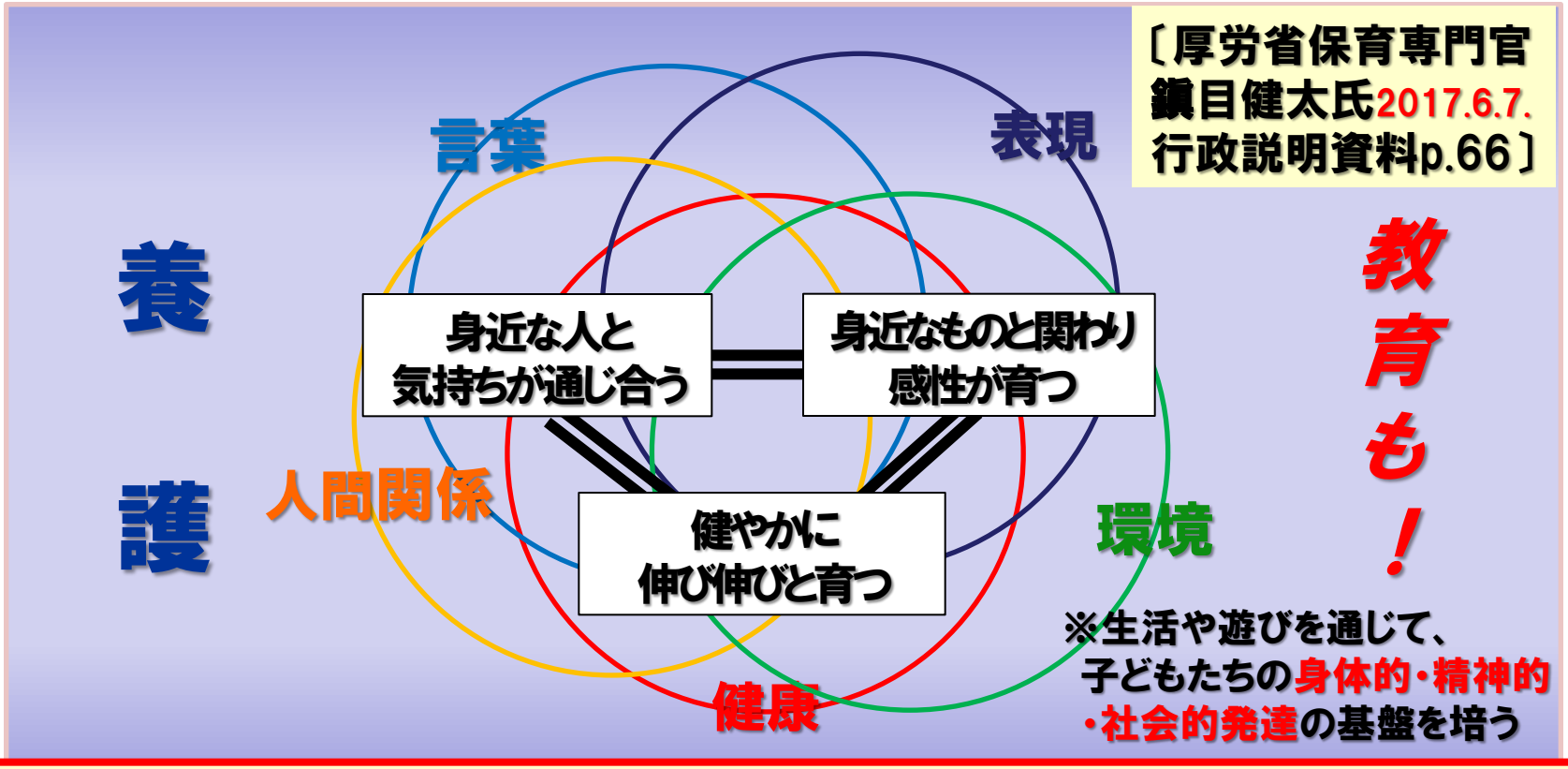
①保育環境は子どもが伸びる環境か？
②ことばかけや援助は適切か・適時に与えられたか？
③子どもが伸びるために改善点はあるか？

※10の姿［ア～コ］；幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」とは？⇔「10の姿」は到達すべき目標ではなく，子どもたち一人ひとりの主体的な楽習を通じて、総合的に育まれるものである。

目に見えない力を育てる
非認知能力を育てる
①社会性
②自制心
③挑戦力
乳幼児期は
根っこを育てる
重要な時期
社会人
大学生
高校生
中学生
小学生
乳幼児期
五官を働かせた体験が未来につながる
だから
「遊び」が大切
子ども中心の保育とは，保育者が子ども一人ひとりに丁寧に寄り添い・見守り・足場をかける保育の方法．子どもが主人公で保育者は賢いわき役、子どもが遊びや生活の主人公となる保育です．
〔全国私立幼稚園連盟PTA新聞2021年6月号に基づき作成〕
（内田，2023）
幼稚園・こども園ではいろんな力が遊びのなかから身につくんだね
根っこの部分をのぞいてみよう
健康な心と体
自立心
協同性
道徳性・規範意識の芽生え
思考力の芽生え
社会生活との関わり
自然との関わり・生命尊重
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現
幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿
幼稚園や保育所、こども園では先生たちがこうした観点で子どもたちの成長をあたたかく見守っています
乳幼児期には根っこを育てる
「10の姿」は到達すべき目標ではなく。子どもたち一人ひとりの主体的な楽習を通じて、総合的に育まれるものです。

0歳児の保育内容の記載のイメージ

〔厚労省保育専門官 鎭目健太氏2017.6.7. 行政説明資料p.66〕

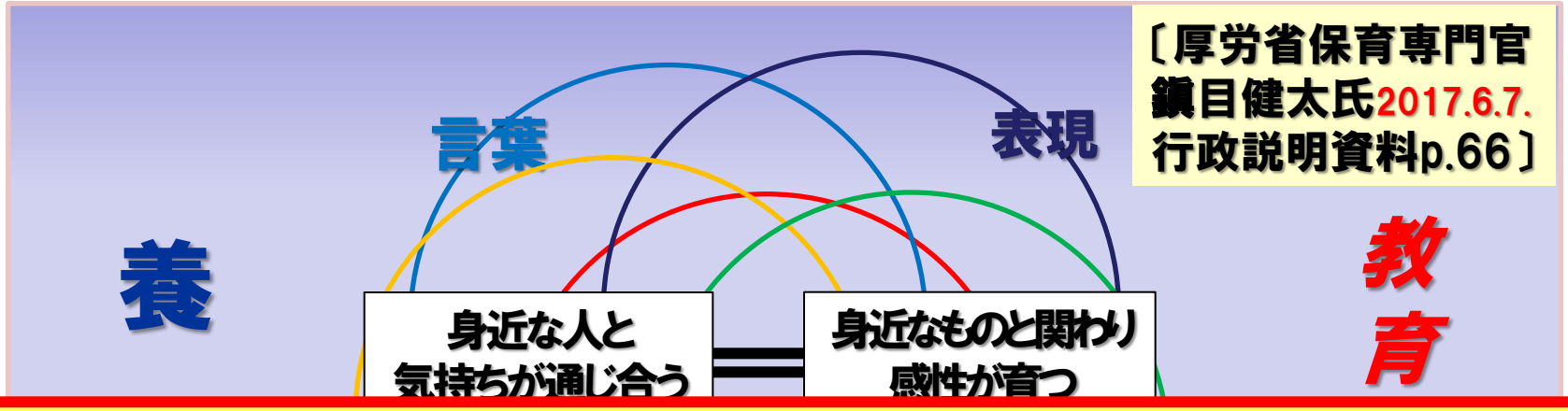


○乳児保育については、生活や遊びが充実することを通して、子どもたちの身体的・精神的・社会的発達の基盤を培うという基本的な考え方を踏まえ、乳児を主体に、「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」「健やかに伸び伸びと育つ」という視点から、保育の内容等を記載。保育現場で取り組みやすいものとなるよう整理・充実。

○「身近な人と気持ちが通じ合う」という視点からは、主に現行指針の「言葉」「人間関係」の領域で示している保育内容との連続性を意識しながら、保育のねらい・内容等について整理・記載。乳児からの働きかけを周囲の大人が受容し、応答的に関与する環境の重要性を踏まえ記載。

○「身近なものと関わり感性が育つ」という視点からは、主に現行指針の「表現」「環境」の領域で示している保育内容との連続性を意識しながら、保育のねらい・内容等について整理・記載。乳児が好奇心を持つような環境構成を意識して記載。

0歳児の保育内容の記載のイメージ



〔厚労省保育専門官
鎭目健太氏2017.6.7.
行政説明資料p.66〕

【子ども中心の保育での「教育」の考え方】

「**養護（care）**があって生命を育み
主体的な学びが起こる
教育（education）はおまけ」

※主体的な学び（遊び）の環境をつくり
子どもをわきから支えるのが保育の仕事

子ども中心の保育

「子ども中心の保育」とかけて？

こころは？・・・・

★待ち　子どものこころの声をしっかり聴く

子どものつまづきを見抜く洞察力

＋　子どもの考えが進むための足場

scaffolding！

(Vygotsky, L.S., 1932; Bruner,J.,1981)

「これにもお豆がなるの？」

渡辺万次郎さんとお孫さん（５歳，４歳）

私はかつて幼稚園の二児を近郊に伴った．彼らは「みやこぐさ」の花に注意を引かれたが、その名を問うほかに能がなかった。当時、私どもの菜園には、同じ豆科の「えんどう」の花が咲いていたので、私は名を教えるかわりに、その花をもって帰り、おうちでそれによく似た花を見出すようにと指導した。

彼らが帰宅後、両者の類似を見出した時には、小さいながらも自力に基づく新発見の喜びに燃えた。やがて一人は「みやこぐさ」について、「これにもお豆がなるの？」と尋ねた。それは誰にも教えられない，独創的な質問であった。

私はそれにも答えず，次の日曜に彼らに現場で確かめることを提案した。

次の日曜に彼らがそこに小さな「お豆」を見出したとき，そこには自分の推理の当たった喜びがあった。

秋がきた。庭には萩の花が咲いた。彼らは萩にも豆のなることを予測した。彼らは過去の経験から，いかなる花に豆がなるかを自主的に知り、その推論を独創的にまだ見ぬ世界に及ぼしたのである。

（高橋金三郎『授業と科学』麦書房、pp.149−150.
渡辺万次郎『理科の教育』8, p.11,1960より）

内田伸子のプロフィール

【現職】 IPU・環太平洋大学教授，お茶の水女子大学名誉教授，
十文字学園女子大学名誉教授.

【専門分野】発達心理学，言語心理学，認知科学，保育学.

【履歴】お茶の水女子大学文教育学部卒業,同大学院修了,学術博士(*Ph. D. in Psychology*)
お茶の水女子大学大学院教授，同大文教育学部長,子ども発達研究センター長,
お茶の水女子大学理事・副学長,2012年～筑波大学常勤監事，2019年～現職.

【主要著書】『世界の子育て―貧困は超えられるか』(金子書房,2012),
『子どもの見ている世界―誕生から6歳までの「子育て・親育ち」』(春秋社，2017)
『発達の心理―ことばの獲得と学び』(サイエンス社,2017),
『AIに負けない子育て―ことばは子どもの未来を拓く』(ジアース教育新社,2020)
『想像力―生きる力の源をさぐる』(春秋社，2023) 他多数

【受賞歴】【受賞歴】 国際賞・功労賞(日本心理学会,2016), 文化庁長官表彰受賞(,2019),
文化功労者 (2021),《叙勲》瑞宝重光章 (2023)他.

【社会活動】NHK「おかあさんといっしょ」の番組開発・コメンテーター,ベネッセの子どもチャレンジの監修，しまじろうパペットの開発,創造性開発の知育玩具「エポンテ」シャチハタとの共同開発、絵本やことば遊び図鑑の企画・監修など.